

# あなたとつなぐ

## 甲こうか賀

### 市議会だより



vol. **47**  
2016/8/1



くもい竹宵の夕べ

## Contents

- 02 特集①／第4回議会報告会
- 04 特集②／政務活動費
- 06 議案審議／6月定例会・5月臨時会
- 08 常任委員会報告
- 12 一般質問／市の考えを問う
- 22 特別委員会・組會議会の動きなど
- 24 こうか再発見Vol.19

# より身近な市議会に

## 第4回議会報告会を開催

市民に開かれた市議会をめざし、第4回議会報告会を5月12日から14日までの3日間にわたり、概ね中学校区単位の6会場で開催しました。

### 主な質問

**問** この報告会の目的および出された質問等の回答はどこで公表されるのか。

今回は区長会を通じてPRをお願いするとともに開会時間を今までよりも30分遅らせたこともあり、前回は大きく上回る230人の方々にご参加いただきました。今回の報告内容は次のとおりです。

- ①平成28年度予算
- ②まちづくり基本条例
- ③議員定数条例の改正
- ④セーフコミュニティ国際認証取得
- ⑤請願

報告に対し、全般にわたり様々な質問やご意見をいただきました。今回いただいた質問やご意見の一部をご紹介しますとともに、詳細についてはホームページに掲載いたします。  
(HPアドレスは左上に)

**問** 開かれた議会として各地域で生の声をお聞きするために開催しており、結果についてはホームページで公開し市議会にも反映していきたいと考えている。

**問** 甲賀市幼保・小中学校再編計画について議会ではなぜ議論されていないのか。

**答** 学区ごとの説明会が行われ、今後地域の意見を聞きながら進められていく予定で、議会としても一般質問等さまざまな場で議論している。

**問** セーフコミュニティ

の取り組みについての予算化は。

**答** セーフコミュニティの予算は委員会の活動などソフト面を中心としたもので、交通安全対策のための道路の補修などは別の予算として確保される。

**問** 三世代同居、特に近居の考え方を教えてほしい。

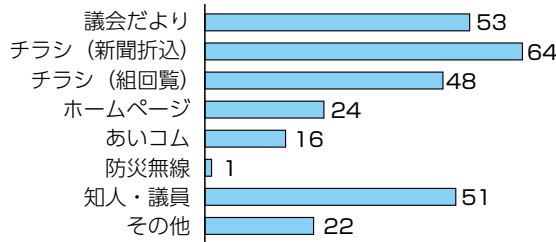
**答** 今年は他市からの移住を促進する施策として、1件につき限度額30万円が設定されている。市内からの移住は同居のみ対象となり近居はこの枠に入らない。

**問** 忍者を観光資源として誘客するための具体的な取り組みはどうか。

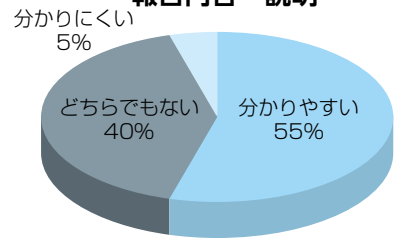
**答** 2月22日が忍者の日に設定され、今年は忍の里・プララで忍者復活祭が開催された。

### アンケート結果

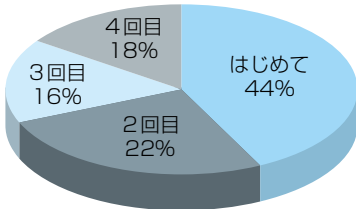
#### 何でお知りになりましたか



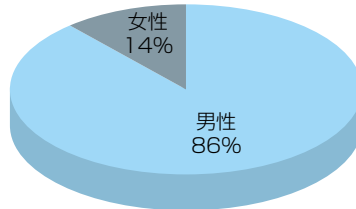
#### 報告内容・説明



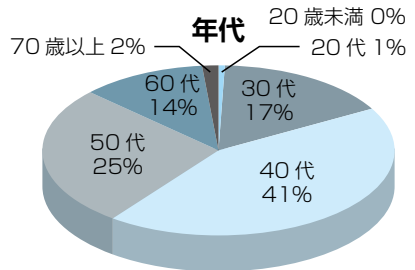
#### 参加回数



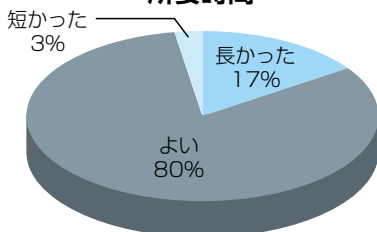
#### 性別



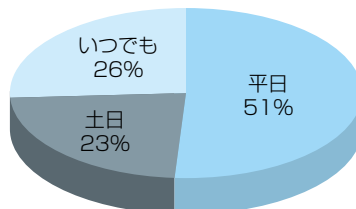
#### 年代



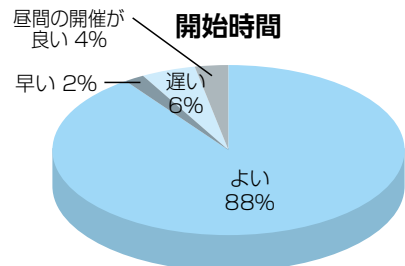
#### 所要時間



#### 開催曜日



#### 開始時間



甲賀市議会ホームページ  
www.city.koka.lg.jp/council/

# 市民に開かれた

## 参加者の声

- 市民が疑問に思っていること、知りたいことを聞ける良い機会であった。
- 回を重ねるごとに説明やポイントがわかりやすくなり、意見も出しやすくなっていると感じました。
- 議会を市民に近づけようとする意欲を感じました。
- 報告会のポスターをいろいろな施設に貼ってはどうかでしょうか。
- 特定の方が特定の問題を質問されており、もっと一般の市民の意見を多く聞く場にしてみたい。
- 1人の質疑時間を制限してはどうですか。せっかく多くの市民が参加してくれているのだから。
- 女性も参加しやすい時間帯に設定いただけると幸いです。
- 継続的に市民の声を反映できる場を多く設定ください。
- 予算内容、条例の内容などを知る機会が与えられてよかったですと思う。
- 決定事項の報告よりも、これからのことを住民の方々と議論されることも、よいと思います。
- まちづくり基本条例が最終どのようなものになったのか、そのまま条例もつけてほしかった。
- 議員提案の条例が増えていくといいと思います。
- 獣害対策は害獣を徹底的に減らすことが重要だと思います。
- 地域別の主な予算について、他の4地域についても提示いただけると、どの日でも参加できると思う。
- 甲賀流忍者をコンセプトに観光プロモーションは大変よい。もっと大々的にしてほしい。
- 政策提案など、議員の資質向上をお願いします。
- この報告会は続けてほしい。
- 質問に対する答えが長い。もう少しポイントのみの回答にして多くの意見を聞くようにしてほしい。

### 第4回 議会報告会 参加人数

開催日	会場	人数
5月12日(木)	かぶか生涯学習館	32
	甲南公民館 (プララ)	38
5月13日(金)	水口社会福祉センター	47
	信楽開発センター	32
5月14日(土)	水口交流センター	64
	土山開発センター	17
計		230



かぶか生涯学習館



甲南公民館



水口社会福祉センター



信楽開発センター



水口交流センター



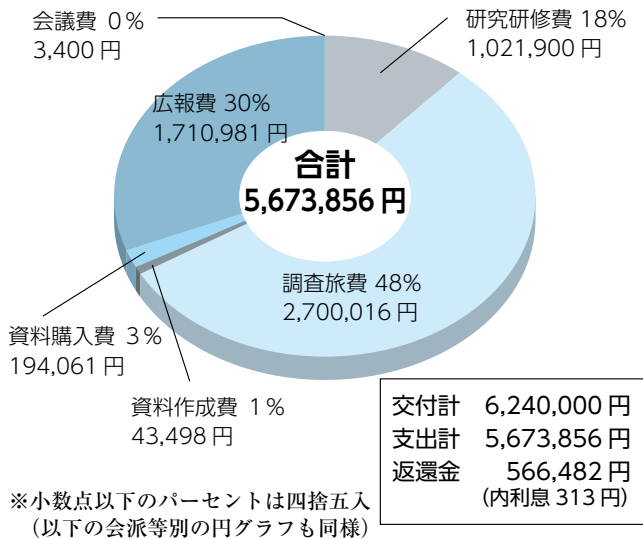
土山開発センター

多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。次回は11月中旬に開催の予定です。

# 平成27年度 各会派別政務活動費

H27.4.1~H28.3.31

## 全体詳細



議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として「政務活動費」が交付されています。

政務活動費は、議員1人1ヶ月2万円で、所属会派(無所属議員にあっては個人)に交付し、年度末にその用途を明確にして精算し、残金は返還いたします。

平成27年度は、総額624万円交付、左表のとおり、5,673,856円支出されました。

研究研修費が18%の1,021,900円、調査旅費が48%の2,700,016円、広報費が30%の1,710,981円となっています。

今回は広報特別委員会の取材記事として、各会派の支出の内容を報告いたします。



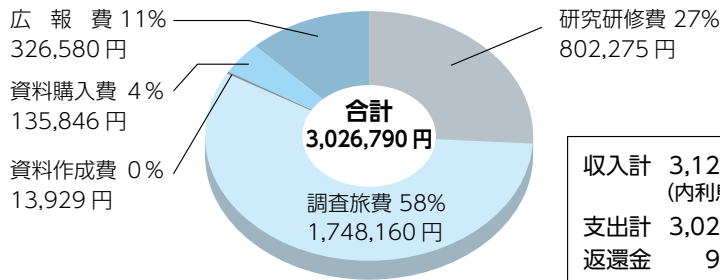
まちづくり1%システム支援事業の研修

27年度の研修は3回、いずれも甲賀市の課題を解決するための研修で、産業・観光・農政・防災・福祉・環境・教育等々多岐にわたって研修を実施されました。

甲賀市議会の規則として会派所属の個人には政務活動費として支払われることはありません。

清風クラブは13名の所属議員で活動されています。政務活動費に

## 清風クラブ(13人)



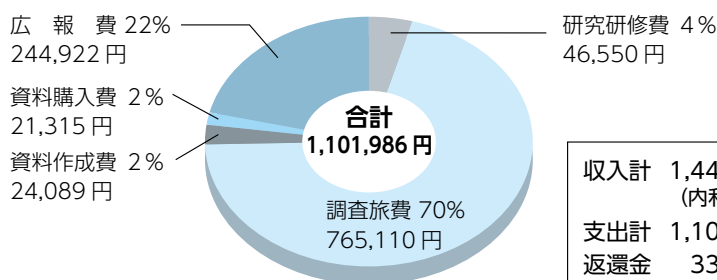
中でも参考になる内容においては、研修後の直近の議会で研修を題材とし、本市に置き換えて議員が一般質問を行い、問題提起をされています。



鯖江市でJK課について

市民クラブ・新しい風は、6名で活動しており、年2回、新聞発行と視察研修そして図書費に使われています。政務活動費の7割は、研修であり、移動手段は、全て鉄道を利用されています。27年度の研修は、坂出市・松山市・福井市・鯖江市を訪問されました。教育分野から、若者の施策

## 市民クラブ・新しい風(6人)



及び都市ブランド等、先進地として学ばれました。定例会において、一般質問や議案審議に活用させて頂いていると話されていました。

## 公明党甲賀市議団(3人)

公明党甲賀市議団は先進地視察研修として

○広島県呉市  
レセプト情報を活用した医療費等の分析  
ジェネリック医薬品の使用促進通知、訪問指導・重症化予防などの取り組み。

○島根県邑南町

「日本一の子育て村」を目指し、地域で子育てを応援。経済的負担を和らげ、生活環境を整備して、一つの家族が安心して子育てできる支援・施策。

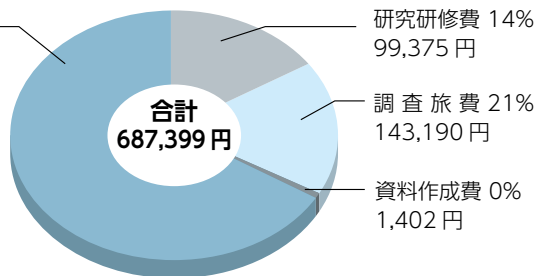
○岡山県高梁市

中山間地での乗合や観光タクシーなど市民ニーズにあわせた地域



呉市役所

公共交通施策。これら先進地の取り組みを議員活動に活かしていきたいとのこと。また、広報紙の発行として「ハートフル通信」を2回発行されています。



収入計	720,044円
(内利息)	44円
支出計	687,399円
返還金	32,645円

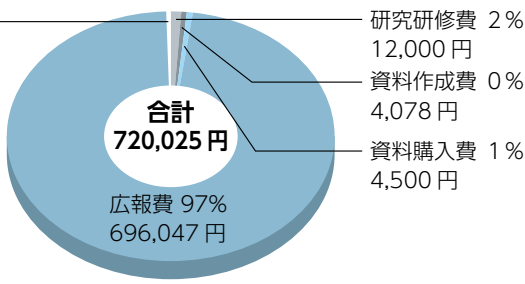
## 日本共産党甲賀市議員団(3人)

日本共産党甲賀市議員団は支出の97%を、広報費として、毎議会後に市内全域を対象に発行する「市議団ニュース・議会報告特集」の印刷代と新聞折込代、それに市議団HPのサーバー管理料に充てられています。「ニュース」は、その前後も発行されていますが、その経費は市議団独自で支出とのこと。また、毎議会後、旧町輪番で「議会報告会」を開催、会場費は会議費で支出していただけます。



市議団ニュース

研究研修費は、地方創生に関する学習会参加のみ。他の先進地研修や学習、対政府交渉などの経費は、政務活動費を使わず、すべて自費で対応していただけます。



収入計	720,025円
(内利息)	25円
支出計	720,025円
返還金	0円

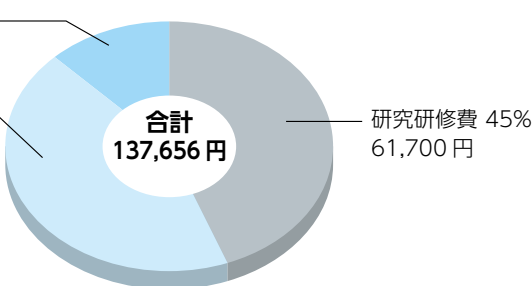
## 無所属 谷永兼二議員

谷永兼二議員は研究研修費として、政治の現場で基盤となる制度や公共的価値等について理解し考えていくための政策基盤力を養う研修を5回にわたり受講されました。調査旅費では、市政で課題、問題となっている事の解決の参考とするため、先進自治体視察、調査研究の実施です。今回は広島県の三次市と竹原市を訪問し、小中一



小中一体型校の低学年専用運動場

貫教育、学力向上施策、小中一貫校(二体型)見学・廃校跡地利活用について視察されました。また、資料購入費では書籍や専門紙を購入し、議員活動に役立てていただけます。



収入計	240,020円
(内利息)	20円
支出計	137,656円
返還金	102,364円

# 議案審議

## みんなで創ろう理想郷まっこの力!

平成28年  
第4回定例会  
議案審議結果

6月6日より22日間の日程で第4回定例会が開催された。主な内容は補正予算の審議や、JR甲南駅の工事委託契約が承認され、31年度の完成を目指しスタートすることになる。また、甲賀市監査委員の辞職により、あらたに議員から選任された。

### 議決結果

#### ◆人事案件

固定資産評価員選任

玉木 正生氏

(全員賛成で同意)

甲賀市監査委員選任

計利氏

(賛成多数で同意)

#### ◆契約案件

・JR草津線甲南駅駅舎合築工事に伴う都市施設の工事委託の契約

7億3431万5千円

・包括外部監査契約

980万円

(全員賛成で可決)

#### ◆条例案件

##### ■新規条例

・地域産業振興基本条例  
(全員賛成で可決)

##### ■条例の一部改正

・消防団員等公務災害

・議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

・附属機関設置条例

・印鑑条例

・廃棄物の処理及び清掃に関する条例

・児童クラブ条例

・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

・指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスのに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

・水口町嶺峨字大鳥居1440番の土地を宗教法人浄福寺に無償譲渡

(全員賛成で可決)

◆一般会計補正予算

4973万9千円

(全員賛成で可決)

◆財産処分

水口町嶺峨字大鳥居1440番の土地を宗教法人浄福寺に無償譲渡

(全員賛成で可決)

◆一問一答

問 産業振興条例第2条第10号は、教育機関の定義があり、11条において教育機関の役割と責務が規定されているが、いかなる組織を想定しているのか。

答 主に県内の大学や信楽窯業試験場等を想定している。

問 放課後児童クラブ運営業務委託49万6千円の委託先は。

答 甲南そまっこ第2児童クラブの夏期休暇中のみの運営委託で、現在の指定管理者。

問 放課後児童クラブ施設整備・改修工事396万円は何か。

答 甲南そまっこ第2児童クラブ新設176万円、雲井くもっこの児童クラブ移転220万円、雲井体育館卓球室等改修、エアコン設置等、児童の安全対策のための費用を計上した。

### 主な質疑

### 主な補正予算一覧

(単位千円)

項目	概要	補正予算額	財源
宝くじコミュニティ助成	コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備	21,300	財団より100%
あい甲賀ふるさと応援基金積立	個人2名からの寄附金を積立	330	寄附
個人番号カード交付	水口庁舎・地域市民センターに臨時職員を配置	8,567	国・市
放課後児童クラブの新設・移転	甲南そまっこ第2の新設、雲井くもっこの移転	6,335	市100%
子育て世代包括支援センター備品購入	児童福祉寄附金を財源に支援センターの備品	600	繰入金
中山間地域担い手収益支援費補助	収益力のある作物のブランド化の取り組みに対し交付	5,415	県100%
観光振興計画審議会の新設	附属機関としての委員報酬等	714	市100%
発達障害等継続支援追加	国の継続支援事業の委託を受けてのシステムの構築	2,968	国100%
寄附による小中学校備品購入	教育振興寄附金を財源に図書及び教材用品を購入	2,510	寄附、繰入金
寄附による土山マラソン開催補助	スポーツ振興寄附金を財源に11月開催の補助金の増額	1,000	寄附

# 意見書など

○:賛成 ●:反対

意見書	提案者	討論		清風クラブ (12人)	・市民クラブ ・新しい風 (6人)	公明党 (3人)	日本共産党 (3人)	無所属 (1人)	可否
		賛成	反対						
戦争法である「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書	安井(共)	山岡(共)	服部(清)	●	○	●	○	●	否決
国会審議でのTPP交渉経過の公表を求める意見書	小西(共)	安井(共)	田中(公)	●	○	●	○	●	否決
沖縄での米軍属による女性暴行殺害事件に抗議するとともに日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書	山岡(共)	小西(共)	山中(清)	●	○	●	○	○	否決
運転開始から40年以上の老朽原発は廃炉にすることを求める意見書	山岡(共)	小西(共)	的場(清)	●	○	●	○	●	否決
次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書	加藤(公)	—	—	○	○	○	○	○	可決
骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書	田中(公)	—	—	○	○	○	○	○	可決
食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書	白坂(公)	—	—	○	○	○	○	○	可決

※(清)清風クラブ・(市)市民クラブ・新しい風・(公)公明党・(共)日本共産党・(無)無所属

## 地域産業振興基本条例とは

今日の地域経済は、高齢化や人口減少、消費者ニーズの多様化、後継者不足などこれまでも大きく変化しています。こうした社会情勢や経済情勢に対応したあらたなビジネスモデルの構築が求められています。そのためにも産業全体を横断的に結びつけることで、地場産業の振興を促し、持続的な発展に繋げて行くことが必要不可欠です。

本条例は、平成24年度甲賀市商工会からの要望や市議会議員の1

般質問を受け制定に至りました。本条例は、中小企業の振興に限定するだけでなく市内全ての産業の振興をはかるものです。

事業者、商工業者、農林業者、観光産業事業者、地場産業事業者、金融機関、産業関係団体、教育機関および市が果たすべきそれぞれの役割と責務について規定しています。また、市が地域産業の振興に係る取り組みの計画や要望・評価について検証及び改善を図るとしています。

## JR甲南駅の整備が動き出す

市道駅前線に続き、駅舎の合築工事の契約案件を議会で承認し、いよいよスタートをむかえました。北口の整

備も含め今後事業化が進んでいきます。駅舎完成は平成30年度の予定です。



第3回臨時会報告		
議案番号	件名	議決結果
議案第46号	甲賀市市税条例の一部改正する条例の制定(専決処分) 地方税制の一部改正につき、条例の改正	承認
議案第47号	甲賀市国民健康保険税条例の一部改正(専決処分) 地方税制の一部改正につき、条例の改正	承認
議案第48号	甲賀市病院事業設置等に関する条例の一部改正(専決処分) 国の法律改正に伴い病院事業の設置等に関する一部改正	承認
議案第49号	甲賀市一般会計補正予算(第6号)(専決処分) 寄付金を基金に積立てる他、交付税財源更生に伴う予算を補正	承認
議案第50号	契約締結につき議決を求めることについて 甲賀大原地域市民センター建設工事3億9,960万円で契約締結	可決
議案第51号	甲賀市副市長(安田全男氏)の選任につき同意を求める	同意

平成28年臨時会 第3回臨時会 第3回臨時会 第3回臨時会

5月25日臨時会が開催されました。

## 主な質疑

甲賀市副市長の選任につき同意を求める件について。

問 議会にかけられる前に何故、本議案が新聞報道されたのか。

答 今回、議会運営委員会の日までに新聞報道があったことは遺憾に思っている。今後、情報管理を徹底したい。

甲賀大原地域市民センター建設工事3億960万円の契約締結の件、副市長選任の同意を求める件他、専決処分の承認を求める件4件が上程され全員賛成で可決承認しました。また、議会の委任による専決処分5件も報告がありました。

# 総務常任委員会

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です

## 所管事務調査

### 市有林の無断伐採の聞き取り

5月6日、委員会を開催し、滋賀中央森林組合による未契約の段階での私有林伐採の経緯ならびに現地調査を実施しました。



3月25日、市から無断伐採の対応について申し入れ。

3月28日、滋賀中央森林組合プレス発表。

#### 伐採期間

2月25日から3月5日まで

#### 損害内容

伐採面積約2・0 ha  
スギ 534本

**問** 提案書が提出され、その後、発見された3月17日までの公有財産管理室の動きは。

**答** 提案書は、28年度実施のものであった。提案は、1者であり契約の方法を検討しており、契約には至っていない。

#### 問 組合より問い合わせはなかったか。

**答** 問い合わせには、契約方法も決定していないので、まだ契約しないと返答した。森林

組合が、契約に至るといふ思い込みで誤伐採が発生した。

**問** 森林組合と作業班との関係をどのように把握しているのか。

**答** 森林組合と作業班は、契約によるものである。森林組合が委託している作業班で、別の会社である。

**問** 1者の随意契約でなく、入札をしてはと考えるが。

**答** 入札は基本だが森林組合しかできない理由から随意契約としているところもある。

**問** 今後の間伐の管理についてはどうするのか。また、後処理についてはどうか。

**答** 間伐作業については、森林整備計画もあり、これに基づき進めていくが、当面は様子を見る。後処理につい

ては、「処分提案書」等により行い、金額等が確定次第報告する。

#### 現地調査

信楽町宮尻字石堂の現地と伐採した材木置き場を市担当部とともに現地確認しました。

今後については、滋賀中央森林組合に対し、適切な是正措置等を求めることとした。

なお、甲賀市の市有林の所有状況は、561haにもおよび、そのうち513・2haは、信楽にあります。



#### その後の経過

5月12日、滋賀県から組合に対し、文書指導。5月20日、伐採木の処分完了に伴う数量、および売却額の確定。

・伐採木の売却額

174万9699円

伐採現場の残材整理および土砂流出防止のための是正措置については完了済みです。

### 平成28年度市県民税の課税誤り

6月23日、委員会を開催し、平成28年度の市県民税の課税誤り、甲賀市公共施設白書等所管事務調査を行いました。

平成28年6月14日に納税者3名の方より確定申告書の所得控除等の内容が納税通知書に反映されていないとの指摘で調査したところ7件の課税誤りがありました。

原因は、取り込みデータについて誤った操作方法だったとのことですが、誤った課税は、市政の信頼を大きく損なうものであり、原因等を聞き、委員会として再発防止を強く求めました。

#### 甲賀市公共施設白書

昨年度から委託業務として発注されている

公共施設等総合管理計画策定にかかる公共施設白書の報告がありました。

市が保有する公共建築物の総延べ床面積は、37万700㎡で、施設数は、411施設です。

施設分類別では、学校教育系が最も延床面積が広く、全体の46・1%です。さらに道路等のインフラ施設があり、現在の保有施設を維持するには、現状以上の費用が必要となります。計画策定に向け、今後、さらに議論を深めます。



# 民生常任委員会

市民の生活と環境、福祉に関わる委員会です

## 所管事務調査

# 第6期介護保険事業計画等を調査

5月13日、委員会を開催し、健康福祉部・市民環境部の所管諸計画の事務調査を実施しました。住み慣れた地域で、自分らしい日常生活を営んでいただくための介護保険計画などの調査です。

### ◎第6期介護保険事業計画・高齢者福祉計画について

#### 画について

第6期計画の中間年として、今年度にどのような事業進展を図るかの細部の説明を求めました。

#### 問 認知症初期集中支援チームはどのようなサポートを行うのか。

答 直接サービスに繋がらないお宅を訪問し、生活や心配ごとの内容を聞き取り、少しでも早く医療や介護に繋がっていく。

#### 問 徘徊などの見守りシステムの計画は。

答 対象の方には家族の協力を得て、顔写真などを地域包括支援センターで保管。今年度に事前登録制度を作りたいと考えている。

#### 意見 本人の安全を最

### ◎子育て世代への支援の拠点整備の進捗、施設の内容を調査。

#### 問 完成までのスケジュールは。

答 9月議会で契約案件を上程し、29年4月のオープンを目指している。

#### 問 調理スペースがあるが、親子で調理できるのか。食事の提供はあるのか。

答 親子で調理したり、弁当の持ち込みも想定している。施設からの提供は考えていない。支援体制の充実をどのように図るのか。

#### 問 子育て支援センターを移転し、業務を充実する。保健師へどう繋ぐかは検討中。

答 子育てネットワークに参加していただくという考え方をしている。

#### 意見 外部からの侵入対策や管理体制を検討するように。

## 人権教育室の設置状況について

### ◎あすばる甲賀解散後の人権施策について調査。

#### 問 支援ネットワークの内容、状況は。

答 人権に関する団体の相互連携に向けたコーディネート及び事業支援を考えている。現在、協議会の設立に向けた準備会を3回開催。次回で詳細決定の予定。

#### 問 旧あすばる甲賀の建物は耐震強度が足りないはずだが、今後の予定は。

答 耐震強度不足の認識はある。今後甲南庁舎等を含め検討する。

#### 意見 相談に行きやすい環境づくりを検討するように。

#### 問 土曜日の開所の必要性はどうか。

答 試行的に土曜日に開所している。4月からの利用者数や相談状況によって、今後検討していく。



### ◎滋賀県市町村交通災害共済事業について

最大60%超の加入率が約20%となり運営が困難になったことから、29年度で加入申し込みを終了、31年度組合解散となる報告を受けました。

#### 問 以前には自治会等で申し込み、集金を行っていたが、どうか。

答 個人情報保護の観点から困難となった。加入率の低迷の原因と考えている。



### ◎公立甲賀病院跡地の土壌汚染について

旧病院取り壊し時に検出された水銀の土壌除去が完了した旨の報告を受けました。

# 文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です

## 所管事務調査

### 平成28年度 甲賀市学校教育の指針について

4月20日、委員会を開催し、4項目の所管事務調査と2件の現地視察を実施しました。

#### ◎教育委員会事務局 織体制について

**問** 学校教育におけるチームでの取り組みに関して、今回の組織体制で変わったことはあるか。

**答** チーム学校の取り組みは、昨年度も行っている。臨床心理士、ソーシャルワーカー、学校司書など専門職を学校に配置している。

#### ◎平成28年度甲賀市学校教育の指針について

**問** 全国学力テストが行われたが、成果が上がっていないが。

**答** 子どもの力や教員の指導力が無い訳ではない。確かな学力が身につけていないのが原因。「確か」とは、自ら学ぼうとする意欲、最後まで取り組む力であり、

今年度は授業改善や確認テストを行いこれらの力を生み出していく。

**問** 漢字検定、英語検定の昨年の参加率は。

**答** 小学校の漢字検定は100%に近い。中学校の英語検定は、部活等で参加できない生徒や級が上がると学力をつける期間が長くなるので毎年受けられないこともある。

**問** 英語検定の目標の級は。

**答** 卒業までに3級合格を目標にしている。

**問** 「人間関係力の磨きを通じた、いじめのない居心地の良い学校づくりの推進」は、長年の課題になっているが、いじめや不登校数は改善されていないが。

**答** 不登校は発達支援課と協力しながら早期発見、早期対応で進めて行く。いじめは認知件数が増えてきている。いじめと認められる案件は、いじめと認知し、対策を考え、経過観察することを徹底していく。

**問** ①学力テスト5ポイント向上とあるが、5ポイント上がると全国での位置になるか。

**答** ②学力の学校別の分析はどうか。③小中一貫教育と学力向上の関係はどうか。④地域との連携で地域資源や地域人材の活用はどうか。

**問** ⑤特色のある教育はどこに記載されているか。

**答** ①5ポイント上がると全国平均になる。②学校別の点数は把握しているが、小規模校の学校もあり、公表については十分な検討が必要。③どうか授業術

5カ条を習得し、小中学校が同じ取り組みで授業をすることにより、中1ギャップによる学力低下を防げる。④地域で色々な専門知識を持った方々をお願いし、チーム学校としての力を高めていく。⑤伝統や文化の継承と活用と記載している。

#### ◎平成28年度甲賀市乳幼児保育・教育の指針及び課程について

**問** 保育園・幼稚園と小学校の連携は、民間園との連携は。

**答** 公立園は夏休みに先生も子どもも交流している。民間園も地域の学校との連携を十分にとっている。

#### ◎甲賀市幼保・小中学校再編計画推進事業実施要綱について

**問** 再編検討協議会設置であるが、再編の是非が分かれた場合はどう進めて行くか。

**答** 再編の是非が分かれた場合も協議の場にはついてほしいと思っている。地域の事情で再編検討協議会を立ち上げられない時は、段階的に協議会を設置することも含めて考えている。

**問** ①地域との協議をどう考えているか。②第3条の再編検討協議会設置についての再編の是非の言葉がないのはなぜか。③第4条の再編検討協議会の委員15名以内はどうか。④第4条の適任と認める者に委員を委嘱することができるかとあるが基準は。

**答** ①②本実施要綱は大枠で定めているため、地域との協議や再編の「是非」については、再編検討協議会設置要綱の中で定めた。③15名以内については、区、自治振興会、園の保護者会、学校PTA、学校や園の後援組織の団体から各3名推薦で15名としたが、内訳について

では縛りは無く協議の中で決めたい。④適任と認める者に委員を委嘱するというスタンスであるが、地域外の学識経験のある方に委員にと言う意見が出たとき、委員会で推薦させて頂くのでこの条項を作った。

①信楽小学校体育館  
◎現地視察

②甲賀中学校



学力向上にかかわる取り組み等



是正工事の確認

# 産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関する委員会です

## 付託議案

### 地域産業振興基本条例を可決

6月22日、委員会を開催し、付託議案を慎重に審査しました。

#### ◎地域産業振興基本条例の制定

本条例は地域産業振興に関する基本理念を定め、地域産業に携わる者の役割や責務を明確にし、本市経済の活性化と市民生活の向上を図ることを目的に定めるもの。

元企業に与えて行くことで、共存共栄を意識している。

**問** 条例制定後、市が発注する事業等に変化が表れてくるのか。

**答** 市の発注担当において、可能な限り地元発注出来るような検討が必要である。

**問** 市内の資金を流出させないことが大事であり、地元還元を意識付けを市民に啓発するべきと考えるが。

**答** 非常に大事なことと認識しており、事例として住宅リフォーム補助事業やプレミアム商品券事業の考え方を念頭において取り組む。慎重に審査を行い、採決の結果、全員賛成により、可決すべきものと決定した。

**問** 大企業者の地域貢献が明示されているが、どのようなことをイメージしているのか。

**答** 大企業者から出来るだけ発注の機会を地

## 所管事務調査

4月27日

#### ◎今年度中に取り組む主な事業の概要

当委員会所管部(上下水道部・建設部・産業経済部)が、今年度中に取り組む主な事業について調査。

#### ◎空き家等対策事業概要

当市の空き家実態調査の状況、現状と課題について調査。

#### ◎プレミアム商品券等の実績概要

昨年度実施のプレミアム商品券、カタログギフト事業の実績・効果について調査。

#### ◎現地視察(5か所)



岩上橋長寿命化修繕工事(水口町巖地先)

4月27日に3項目の所管事務調査と、5件の現地視察を、6月22日には3項目の所管事務調査を実施しました。



勅旨・長野地区 第一污水幹線整備工事



信楽「地域おこし協力隊」との懇談



市道漆谷中山谷線災害防除工事(甲賀町神保地先)

6月22日

#### ◎住宅リフォーム補助事業の申請状況確認

今年度住宅リフォーム補助事業の申し込み状況並びに抽選結果の状況について調査。

今年度は443件の申し込みがあり、当選者数が240件、当選率は54%。

#### ◎(仮称)甲賀北地区工業団地整備事業実施予定者等の確認

(仮称)甲賀北地区工業団地整備事業における事業実施予定者の選定結果について調査。

6月15日、公募型プロポーザル方式により、



雲井駅前観光トイレ建設工事

#### ◎甲南駅周辺整備事業の概要

平成26年度に事業許可を得た後、駅舎周辺と駅前広場の用地取得も終え、平成30年度新駅舎完成に向け順調に進む、甲南駅周辺整備事業について調査。

この事業は、「まちの活性化」と「まちづくりに推進するため、JR甲南駅舎の改築や自由通路の設置、南北駅前広場、アクセス道路等の都市施設の総合的な整備を図り、利用者の安全性と利便性の向上を目指す事業である。

株式会社フジタ大阪支店が事業実施予定者に選定された。今後は協定締結に向け、事業費及び事業実施分担(リスク分担)の協議を経て、平成30年度造成着工に向けて事業が進められる。

# 18人の議員が 市の考えを問う

平成28年  
6月16日・17日・20日・21日

## 目次

### 平成28年 第4回甲賀市議会定例会一般質問

順番	氏名	質問事項	順番	氏名	質問事項
1	白坂萬里子	1 災害自治体へ、ふるさと納税代行ができないか 2 新生児聴覚検査に助成を 3 産後ケアに助成を 4 祖父母手帳の作成発行を 5 環境教育で食品ロスをなくそう	10	山岡 光広	1 熊本地震の教訓を生かした「災害に強い福祉のまちづくり」について 2 学童保育の入所希望に対し、「待機」を生み出さないための施設整備と支援員確保について 3 食物アレルギーの児童生徒に対する対応について 4 市職員の健康管理と労働条件改善について
2	田中 將之	1 旧甲賀病院跡地の購入について 2 若者の政策形成過程への参画について 3 熊本地震を教訓として 4 観光戦略について 5 地域公共交通網形成計画について	11	的場 計利	1 セーフコミュニティ安全安心のまちづくりのために市内在留外国人による外国人消防隊の結成を 2 市内の在校生徒・児童の自転車による人身事故賠償責任保険への強制加入と保険料の補助制度の拡充を 3 自転車通学免許証制度を 4 甲賀市における介護離職の現状と救済について
3	加藤 和孝	1 災害に強いまちづくりについて (1)国土強靱化地域計画の策定 (2)被災者支援システムの導入 2 福祉施策の拡充について (1)高齢者福祉施設の設置 (2)多胎妊婦の健診助成 (3)介護ロボットの導入助成 (4)ヘルプマーク・ヘルプカードの導入 3 よりよい地域づくりについて (1)公共図書館によるビジネス支援 (2)詐欺被害防止のためのポップアップシールの配布	12	小西喜代次	1 2つのウソで国民を欺くTPPについて 2 幼保・小中学校再編計画について 3 帝産バスの廃止について 4 信楽運動公園の遊具について
4	竹村 貞男	1 小中学校教育職員の勤務時間縮減その他について 2 小中学校の校舎や体育館の改修問題その他について 3 子どもの体力向上策について	13	森田 久生	1 「当市の財政状況と課題並びに今後の展望」について
5	片山 修	1 地震など大災害への対応について 2 介護離職対策について	14	橋本 律子	1 甲賀市における地域創生の鍵は 2 わがまちの郷土の“誇り”について
6	戎脇 浩	1 より安全な甲賀市であるために、セーフコミュニティにどのように取り組むか	15	安井 直明	1 憲法違反の戦争法廃止を、非核平和都市宣言を制定した甲賀市、憲法を守る立場から市長の所見を問う 2 より良い教育環境・災害避難所としても小・中学校にエアコン設置を 3 保育所、幼稚園で働く臨時、パート職員の賃金改善を 4 75歳以上の人間ドックに市の補助をせよ 5 エコパレイ展望台、野外ステージ等の維持管理、修繕を
7	土山 定信	1 鯖江市で学んだJK課から、わが市が学ぶことは無いのか、と問う	16	竹若 茂國	1 甲賀の国づくりプロジェクトについて 2 財政状況と今後のまちづくり計画について 3 人権総合計画について
8	林田 久充	1 空き家対策とまちづくりについて 2 こども110番の現況について	17	田中 新人	1 甲賀市の農業振興施策について 2 国道一号水口道路4車線供用開始後の整備効果の確認について 3 ひのきが丘公園野球場について
9	山中 善治	1 住みやすい地域づくりにおける獣害に強い里づくり事業や伐採竹林の活用を問う 2 教育施設修繕奉仕活動の更なる活用を問う	18	小河 文人	1 WHO認証セーフコミュニティについて

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

白坂萬里子

**Q** 新生児聴覚検査に公費助成を

**A** 大切な検査、実施に向け取り組み



**問** 災害自治体へのふるさと納税の事務事業が代行できないか。

**総合政策部長** 被災自治体が被災者への対応や復旧作業に専念できるなどのメリットも大きいことから、今後に備え調査研究を進め、被災地が求められる支援に取り組んでいく。

**問** 経済力や住んでい場所に関わらず、産後ケアセンターを利用できる環境にし、産後ケアに助成を。

**問** 環境教育で食品ロスをなくそう。  
①給食や食育・環境教育で食品ロス削減のための啓発を進めては。

**問** 今年度、地域公共交通網形成計画が策定されるが、4つの視点で問う。  
住民ニーズ調査など、地域の課題をどのように吸い上げ、活かしていくのか。

**問** 一部の自治振興会と協議を進めている。今後、高齢者等の皆さんが安心して暮らせるよう研究していく。

**市長** 信楽高原鐵道と連携した新たな観光ルートの創設となることから、本市の観光資源としての魅力が一段と高まり、新たな誘客を図ることができると考えるので、運行に向けての可能性を検討する。

**問** 新生児聴覚検査の認識と本市での取り組み状況は。検査費の公費助成は考えてないか。

**市長** 聴覚障害は、早期指導が行われれば、コミュニケーションや言語の発達促進が期待できることから、早期に療育機関につながるなどが重要と認識している。本市の受診率は85.4%。新生児聴覚検査は本市の将来を託す子

**健康福祉部長** 保健師・助産師の訪問活動の充実とあわせ、産前産後の切れ目のない包括的な支援に努める。  
**問** 祖父母手帳の作成・発行をしては。

**問** 1次交通(鉄道)があるため、2次交通網(コミバス)が整備されない地域、たとえば信楽町勅旨地区などで自治組織が取り組むコミタクなどを検討しては。

**市長** 自治組織が取り組むコミタクなどの自主運行は、自宅から目的地まで直接移動できるメリットがある。既

**市長** 信楽高原鐵道と連携した新たな観光ルートの創設となることから、本市の観光資源としての魅力が一段と高まり、新たな誘客を図ることができると考えるので、運行に向けての可能性を検討する。

**健康福祉部理事** 祖父  
母交流の開催や孫講座を開催するなど、子育て情報を祖父母世代に発信するため



さいたま市祖父母手帳

田中 將之

**Q** コミタクなどの自主運行を

**A** 自治振興会と協議を進めている



利活用が期待される  
コミュニケーションバス



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

加藤 和孝

**Q** 多胎妊婦の健診助成の上乗せは

**A** 実施に向けて取り組んでいく



竹村 貞男

**Q** 教員の勤務実態調査をしているか

**A** 年に2回、全校で実施している



**問** 発生が想定される大規模自然災害等から市民の生命・財産を守るべく国土強靱化地域計画を策定すべきと考えるが、その予定は。

**市長** 地域防災計画との関連性も研究しながら、策定予定の県の国土強靱化地域計画の方向性を確認し、整合性を図りつつ、出来る限り早い時期の策定を目指している。

**問** 大規模災害発生に備え、り災証明書の発行等を容易にする被災者支援システムの導入を以前に提案したが、その後の取り組みは。

**危機安全管理統括監** 既に導入している自治体からの情報も収集している状況であり、被災者の生活再建支援の



ピード化が図れるよう導入に向けて進めていく。

**問** 多胎妊婦の場合、妊婦健診の受診回数が多くなることから、従来の14回分の公費助成に加え、一定回数分を上乗せすべきでは。

**市長** 多胎妊娠は出産までのリスクが高いことから、とりわけ母子の安全を第一にすべき

と考え、かねてより本市が取り組んでいる子育て応援の一環として、実施に向けて取り組んでいく。

**問** 振り込め詐欺等を防止すべく、電話機の受話器を載せる部分に貼り付けて注意を呼びかけるポップアップシールを、一人暮らし高齢者世帯等を対象に配布してはどうか。

**市民環境部長** ポップアップシールは、平成26年度に滋賀県警察と滋賀県防犯協会が作成され、提供を受けて窓口や出前講座で配布したが、継続して取り組むことが必要であることから、改めて高齢者世帯を中心に配布することを検討する。

**問** 教育職員の時間外勤務は①原則として命じないこと②臨時又は緊急やむを得ない場合に限る③健康と福祉を害しない配慮が必要という文部省通知があるが承知しているか。

**教育部長** 昭和46年7月9日に出された文部事務次官通達であり、承知している。

**問** 臨時又は緊急にやむを得ない場合に限りとされる時間外勤務を校長が命じることが出来る業務とは何か。

**教育部長** ①校外実習その他生徒の実習に関する業務②修学旅行その他の学校行事に関する業務③職員会議に関する業務④非常災害の場合、児童又は生徒の指導に関し緊急の措置を

必要とする場合の業務の4項目。

**問** 中学校教員に部活動の顧問を務めるかどうかの選択権はあるか。

**教育部長** 中学校学習指導要領総則第4条第2項第13号に、部活動は「学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との連携が図られるよう留意する事」と規定されている。



トイレの改修が待たれる甲賀中学校

このことから、部活動は全教職員が分担して指導に当たるべきものである。しかしながら、休業日(週休日)については、基本的に

は部活指導を命ずることは出来ない。やむなく、勤務を命ずる必要がある場合は、勤務命令等を発し、週休日の割り振り変更を行うか、いわゆる部活手当ての対応が必要となる。

その他、部活動指導の外部委託、甲賀中学校のトイレ改修問題、子どもの体力向上策等について質問を行った。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

片山 修

Q 防災の備えの再点検は

A 防災計画の追加・見直しを行う



冨脇 浩

Q セーフコミュニティの今後は

A 更なる取り組みと継続性が重要



**問** 甲賀市としての人の支援は。

**危機安全管理統括監** 5月

15日から20日までの間、熊本県南阿蘇村へ保健師一名を派遣している。

**問** 避難所においてライフラインが寸断されたときの対策は。

**危機安全管理統括監** 各分野

ごとの団体と災害時における応急復旧に関する協定を締結しており、災害時には速やかに支援要請を行い、早期の復旧につなげることをしている。また、防災倉庫には、発電機や照明器具等も一定備えており、毎年点検を行い必要な修繕や更新を図っている。

**問** 国際認証取得後、新たなステップに入った。2月の式典時の盛り上がり在今后に繋げることが重要である。市民主体の活動ではあるが、現段階では行政の主導的役割が必要ではないか。

**危機安全管理統括監** 効果

のある取り組みの継続には行政の役割が重要であると認識している。対策委員会に対し、状況に応じて異なる角度からの提案を行う。

**問** セーフコミュニティの取り組みは啓発等のソフト事業が中心であるが、予算措置を行った上で、環境改善等のハード事業を行うべくではないか。

**危機安全管理統括監** 事故

やケガの原因が環境面



交通安全対策委員会に参加した新名神鈴鹿トンネルでの訓練

である。セーフコミュニティの取り組みによりその責務を果たそうとされる思いを伺う。

**市長** 事故やケガを抑止するだけでなく、市民のかけがえのない命を守ることは、危機管理を重きとする行政の責務である。セーフコミュニティのしくみをもって、不規則、不安定な時代に逆行することなく、安心安全のレベルを更に引き上げるべく、しっかりと強い決意を持ってバージョンアップに努めていく。

**問** 市民の皆様の命を守り、安全を確保することは、私たち市政に関わる者の最大の責務

事故やけがを防ぐ、セーフコミュニティ

資機材を保管している防災倉庫



**危機安全管理統括監** 公共施設や地域の緊急避難場所等に100基が設置されている。今後、それぞれの地域で設置を広げていただけるよう、市としてもPRしていきたい。

にある場合はハード整備を行う方が有効であることは確かである。対策委員会での検討の中で、環境改善の効果が見込まれた場合は、ハード整備へと踏み込んで検討したい。

セーフコミュニティ



市民の皆様の命を守り、安全を確保することは、私たち市政に関わる者の最大の責務

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

土山 定信

**Q** 鯖江市の、JK課をわが市に

**A** 調査研究をしていく



JK課の活動が評価されて鯖江市が総務大臣賞



域愛を育むうえで意義深いと考えている。また無作為で選んだ市民との意見交換など、若い方々の声をできるだけだけ聞いていく。

**問** 新庁舎建設にも、若い人の意見も取り入れたのか。

**総務部長** 小学生から大学生を交えた市民ワークショップ等の意見を反映させている。

**問** わが市においても、〇〇創生とか総合戦略、観光戦略とか、若者に響かないのではないかと、その企画等を別の視点からチェックする、JK課の発想は、今の

**問** 福井県の鯖江市では、このJK課(女子高校生課)を設置して、若い方の意見や、若い発想を市の企画に取り込もうと、努力されている。わが市では、若い方の意見を現在どのように取り入れているのか。

**市長** 若者が持つエネルギーは、街づくりの原動力であり、子ども未来会議の活動は、地

甲賀市に一番必要であると考えており、意見を聞く。

**総合政策部長** 全国的な人口減少・少子高齢化が進む中、活気を生み出す一つの考えであると認識している。

**問** では、JK課は、わが市にとって、特効薬的な、素晴らしい効果が期待できるはずであり、今後設置する方向で検討することはないのか。

**総合政策部長** 若い世代の希望に応える、多様な選択肢を作ること、は戦略の視点に掲げている。

幅広い世代からの意見を取り入れるために、甲賀らしい若者参加に重点を置き、調査研究をしていく。

林田 久充

**Q** 空き家対策とまちづくりの考えは

**A** 空き家を活かし賑わいを



**問** 空き家バンク制度で、市が運営主体になるポイントは何か。

**総合政策部長** 地域のルールを伝える等地域に定着していただくため、行政が主体となる。

**問** 行政コストを考えると登録バンクの絞り込みは必要ないか。どこでも賃貸、売買とも可能なのか。

**総合政策部長** 市街化調整区域における取り扱い、法令により一定の制限がかかる。

**問** 昨年6月に甲賀市空家等実態調査が業務委託されているが、この調査の目的と結果は。

**建設部長** 市内における空き家の候補を抽出し、2184戸の空き家候補のデータが目的。特定した空き家の

数を年度内に議会等に報告する予定。

**問** 甲賀市空家対策協議会準備会が開催されたが、どのようなメンバーで、何が話されたのか。

**建設部長** 市長のほか、滋賀建築士会等8名のメンバーで構成。第1回は、空家等対策の方針(案)や役割について協議。特定空家等の判定基準、適正な管理に関する条例、空家等対策計画について意見をいただき、今年度中に策定等を行う。

**問** 対策計画策定は、空き家の活用、維持管理、除却等の観点からの対策が考え

られる。空き家対策から見える市長のまちづくりの思いを問う。

**市長** 指摘のとおり、空き家の利活用については、地域別に個性ある集積効果を高める必要があると考えている。困難な課題もあるが、質問等の主旨に沿うべく、対策計画に盛り込むことを検討する。



空き家バンクのPRチラシ



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

山中 善治

**Q** 教育施設修繕奉仕活動の活用は

**A** 予算検討も含め推進する



山岡 光広

**Q** 熊本地震の教訓生かし対策強化を

**A** 見直し必要。避難所拡充へ検討



**問** 構造物の長寿命化における有資格者のチエック機能は。

**総務部長** 施設の維持管理において、大規模な改修を未然に防ぐためにも、早期の小修繕対応は重要。建築士など有資格者の確保や部局横断的連携による適切なチエックに努める。

**問** 緩衝帯整備事業の取り組み状況は。

**産業経済部長** 市内総集落数201地区のうち、昨年度農作物被害報告が60地区からあり、集落環境点検は47地区、緩衝帯整備事業は水口4件、甲賀2件、甲南2件、信楽2件の計10件(内本年度実施予定3地区)。

**問** 今後の取組みは。

**産業経済部長** 放置竹林は、獣害だけでなく生活環境や生態系にも影響を及ぼすと考えている。地

**問** 今後の展開を問う。

**教育長** 本事業は、学校現場の受け止めも大変好評である。しかし限られた予算と時間の中での活動であるため、小規模修繕にならざるを得ないが、より効果的な実施に向けて予算も含め検討しながら取り組みをお願いする。

「修繕活動の出前講座」は子どもたちの将来の職業選択の手がか

りにもなり、誠に有効だ。皆様のご理解をいただき、無理のない中で可能性を見出したい。

域ぐるみで実施されている事業であり、再度、獣の巣とならないよう適切な維持管理が重要。国の「炭の投入」や県の「森林資源を活用した商品開発等」の交付金事業や、大学、NPO、地域での先進地事例を区長会や農談会等を通じ啓発する。



市内の竹炭加工場

**問** 熊本地震の教訓を生かした災害に強い福祉のまちづくり。市としての課題は何か。

**市長** 熊本地震は、観測史上予測しえない地震。第一の教訓は、内陸直下型の地震は発生確率に関係なく、断層帯の仕組み等、市民生活において啓発し対策強化が急がれる。第二の教訓は避難所の運営。学校施設を避難所として指定する場合、水・食料・トイレ等の課題がある。施設全体で機能を持たせていく検討が必要である。

**問** 連続する地震動。耐震基準を含め、防災計画そのものを見直すべき。建設中の市役所は連続する地震にも対応できるのか。

**危機安全管理統括監** 耐震基準、被害想定、防災アセス等全体的に見直しする必要がある。

**問** 学童保育で入所希望者に待機を生み出さない対策。支援員など人材確保。夏季休暇の学童保育実施を。

**健康福祉部理事** 甲南そまっこ児童クラブは、定員80名の第2児童クラブを新設。夏季休暇から対応したい。信楽雲井くもっこ児童クラブも移転し対応。人材確保についても給与・賃金の増額を行い安定した支援員の確保に配慮している。

**問** 特に小中学校での食物アレルギー生徒に対する対応は。

**教育部長** 公立保育園で127人、小中学校で122人が食物アレルギー対応必要で、学校対応マニュアルにもとづき、看護師によるシミュレーションを行いながら各学校で研修等実施している。

新しく開所する「甲南そまっこ第2児童クラブ」(旧JA甲南支店)



新しく開所する「甲南そまっこ第2児童クラブ」(旧JA甲南支店)

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

## 計利 的場

**Q** 自転車保険料の補助と加入啓発を

**A** 安心の未来のため前向きに検討



## 小西喜代次

**Q** 学校統廃合は地域創生に逆行

**A** 新たなニーズが児童を呼びこむ



自転車通学、万が一の事故に対する備えは

**教育長** 事故を

起こさないために、安全教育の徹底を図る必要を痛感している。また、正しい運転マナーの指導実践に取り組んでいる。

将来ある児童生徒が巨額の賠償責任を負うことは誠に遺憾であり、あつてはならないこと。

学校・家庭・地域がそれぞれなすべき責任を果たすことが何よりも重要と考える。

**問** 近年、地方自治体

で自転車保険の加入を義務付ける条例が制定されているが、加入率はまだまだ低い。現状の無防備に近い

状態に対する認識は。

**教育長** 滋賀県でも、

本年10月1日施行の条例で保険加入が義務付けられる。

市並びに学校においても、万が一加害者になった場合に備え、強

力に保険加入を勧める。**問** 甲賀市は中学生の通学手段として自転車

を認めている。また、自転車通学に頼らざるを得ない。加入義務付け

に伴い、保険料を補助すべきと考えるが。**教育長** 保険加入については、あくまで利用者・保護者の自己責任が原則。しかし、児童生徒の幸せな未来と巨額の賠償責任が課せられる現状を考えると、啓発とともに市として前向きに検討する。

**問** TPPの「国会決議への所見は。

**市長** 「聖域を守る」という国会決議が遵守されるように強く望む。

**問** TPPの市の農林水産分野の影響額は。**産業経済部長** 約3億3600万円減少。

**問** 幼・保、小中学校再編計画と小中一貫校を一体に検討している県内の自治体は。**教育長** 高島市である。

**問** 「再編計画」で保育園等がなくなる地域では若者が住まなくなり、過疎化がすすみ少子化対策に逆行だ。

**教育長** 行政と地域が知恵を出し合い、努力することが何よりの過疎化対策である。**問** 統廃合計画と公共施設総合管理計画は一

体ではないのか。また「地域創生」に逆行するのではないか。

**教育長** 「管理計画」策定は各部署の個別の計画を踏まえなければならず、その主旨は反映されるものと認識。

また、統合校に魅力ある教育内容や教育システムが備われば、新たなニーズも生まれ児童生徒を呼び込むことにもつながり、「地域創生」にも資する。

**問** 小中一貫校の教育委員会議事録の公開時期はいつか。**教育委員長** 現在、

最適な一貫校は検討段階。再編検討協議会等の意見を踏まえ公開の時期を決定したい。

**問** 帝産バス廃止届に対し、路線継続が必要

と考えるが市の対応は。

**総合政策部長** 欠損額の一部を市が支援し、朝1便、夕2便の運行継続で協議が整った。

**問** 信楽運動公園の新しいすべり台は「危険だ」との利用者の声。早急な対応が必要ではないか。**建設部長** 現在使用禁止している。取り替えや改造等も検討している。

現在、使用禁止となっている信楽運動公園のすべり台



現在、使用禁止となっている信楽運動公園のすべり台

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

森田 久生

**Q** 公共施設等の維持管理更新費用は

**A** 今後10年間で900億円を見込む



**問** 今回は、10年後を想定した本市財政の現状と課題並びに展望について質問した。

**答** 本市財政の今後10年後を見越し、財政課題と展望について市長の総論的な認識は、

**市長** 合併特例期間の終了や人口減少の進展で、地方交付税・市民税が減少する。財源確保と歳出削減が最大課題と認識している。

**問** 一般会計、特別会計の今後10年後の姿をどの様に想定するか。

**総務部長** 一般会計は、350億円程度、国民健康保険は今年度比較3%増の105億円、後期高齢者医療は28%増の230億円、介護保険が39%増の94億円を見込む。

**問** 今年度予算の市税総額は134億円である。市税の直近の滞納状況と滞納徴収・予防対策について伺う。

**総務部理事** 市税の滞納は年々減少し、平成26年度末で13億7千万円。5年前から約3億円減額。今後も「チャレンジ28プラン」に基づき滞納縮減と滞納予防に努める。

**問** 老朽化が進む公共建築物や道路、橋梁、上下水道施設の今後10年間に必要な維持管理・更新対策費用は、

**総務部長** 建築物、橋梁等にかかる更新費用が約590億円、上下水道施設に約310億円が必要と想定する。

**問** 本市の貸借対照表上の総資産は3145

億円、負債1045億円、純資産2100億円、一市民当たり純資産は227万円であるが、この一市民当たりを県内他市と比較するとのポジションか。

**総務部長** 本市採用の高度な基準で算出しているのは2市。大津市が237万円、湖南市が94万円である。



合併特例債を有効活用し建設が進む新庁舎

橋本 律子

**Q** 甲賀市における地域創生の鍵は

**A** 市民の創造性等を活かす取り組み



**問** 国の地方創生に向けた地域住民生活等緊急支援事業(商品券・カタログギフト等)の経済循環の動向と消費喚起の効果は、

**産業経済部長** プレミアム商品券は述べ2万228人に利用いただし総額3億328万円の利用実績。商品券以外で支払は約4千4百万円と推測され消費意欲の喚起・経済活性化につながった。カタログギフトは発行した6千部完売、利用率は96%だった。地域資源を活かした特産品を全国にPRできたと考える。

**問** 本事業活用と、期待が増加すると予測される住宅リフォーム助成の後は、

**産業経済部長** 継続的

今後も期待される住宅リフォーム

補助事業費	4500万円
試算総工事費	5億1985万円
申込件数	443件
当選者数	240件

が役割を持ち、総力戦でまちを動かすことが肝要。様々な市民の創造性など地域力を活かす取り組みを進める。

**問** わがまちの魅力アップはどう図る。

**総合政策部長** 市内には多くの地域資源があるが、現状は上手く活かせていない。シティセールスや市民としての誇りを醸成し、このまちのために何かをしたいと思える機運づくりが重要と考える。

- ※その他の質問
- ①各自治区保有の文化財保存の今後と支援
- ②市内全域の資料館の創設について

**総合政策部長** 市民や各種団体・企業などまちづくりを担う誰もが主役となり、それぞれ



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

安井 直明

**Q** 小・中学校にエアコンを

**A** 適切に判断する時期だ



**問** 憲法違反の「戦争法」反対の運動をどう見るか。

**市長** 争いという関わっていかというの

ではなく、不戦の誓いのもとに、あらゆる争いという愚かな行為を決して繰り返すことのない時代を、しっかりと後世につないでいくよう行動していくことが日本の役割であると確信している。

**問** 過去3年間県内で小・中学校のエアコンを設置した学校はどうか。

**教育部長** 校名や校数までは、認識はしていないが、整備率は49%から75%に上昇。

**問** 避難場所としても学校は指定されている。新年度設置する考えはないか。

**市長** 地球温暖化、異常気象の折ゆえに、適切に判断していかなければならない時期にきている。

**問** 74歳までは人間ドックに市の補助があるが、75歳以上はない。健康の保持及び増進からも市の補助をすべきだ。

**市民環境部長** 今までも議論されたが県内においても市単独で実施されていらない、実施する考えはない。

**問** 保育所、幼稚園で働く臨時、パート職員の賃金を引き上げるべきだ。

**市長** 毎年検討し、改善を行っている。本年度も事務的職員より高い引き上げを実施した。



壊れている  
野外ステージ

良く見えない  
観光看板

も土山の良さを知ってもらうため、土山町の青土ダムエコーバレイに連れて行っている。また、県外の利用者も多いが、展望台、野外ステージ等壊れ放置され危険だ。観光看板も見えない。早急に補修すべきだ。

**建設部長** 木造で老朽化しており、廃止や撤去も含めて、全体の施設を考え、修繕等を進める。

**産業経済部長** 忍者をテーマとした新たな施設や公共施設の活用、民間施設、歴史的価値の高い観光資源の有効活用をはかる。

**問** 唯一無二の観光ルートとは。

**産業経済部長** 本市の交通立地を活かし豊かな資源をつなぐ、他にない観光ルートを作る。

竹若 茂國

**Q** 創生交付金終了後も持続的施策を

**A** 市独自の財源を充て確実に進める



**問** 東京オリンピックにおけるインバウンド・マーケティングとは。

**産業経済部長** インターネットを活用したマーケティング調査を行い効果的な計画により外国人の誘客を行う。

**問** 観光拠点施設整備とは。

**市長** 貴重な文化的遺産であり観光資源として価値あるものにするため教委や関係者により検討する。

**問** 2025年の後期高齢者の急増における対策は。

**総務部長** 2025年問題も視野に入れた、向こう10年間の財政計画の策定をすすめている。



ビニールシートを被せた「東雲舎(第二の忍術屋敷)」

設改修だけで、10年間に900億円必要と聞いている。今後の財政の見通しは。

**総務部長** 施設総合管理計画を策定し計画的にすすめる。

**問** 国の財政は破綻状態、有利な合併特別債も不安を残すのでは。

**総務部長** 国に対して財源確保を強く求める。

**問** 現甲賀警察や甲賀病院跡地の土地購入は、その時点で具体的な計画が示されなかった。

**市長** 10年間の包括的な財政計画を9月に皆様に分かりやすく示す。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小麦の刈取り作業



田中 新人

**Q** 農家の畦畔管理に対する助成は

**A** 先進地の事例を参考に今後検討



小河 文人

**Q** セーフコミュニティの今後は

**A** 行政の責務を果たしていく



**問** 今までの甲賀市農業施策、事業の実態は。  
**産業経済部長** 農業者数は平成27年度が6722人で平成22年度対比853人減少、農地面積の推移は5688haで対比475ha減少、認定農業者数は現在189経営体で平成22年対比48経営体増えている。

**問** 農家負担である畦畔管理に対する助成は。  
**産業経済部長** 生態系や環境、景観の調和に優れたグラントカバープランツの導入支援等は、既に市内でも実施されているところもあり、その取り組み効果等実態について、聞き取りや農家の意向を聴き先進地事例を参考に、今後検討していく。

**問** 国道1号4車線供用開始後、泉西交差点の状況及び県道泉水口線と市道泉西林口幹線の交差点改良計画の方向性はどうか。  
**建設部長** 泉西交差点付近の渋滞緩和は一定図られているが、県道泉水口線と市道泉西林口幹線の合流部は、河川法の関係から構造的な状況で、事業進捗は図られていない。

**問** 市長のトップダウンで進めてきたセーフコミュニティ(以下SC)の取り組みは、WHO世界保健機関の国際認証を取得するため多くの市民の皆さんに協力を求めて進めてきた。しかし、認証機関が現在WHOとは全く関係のない一民間団体である事がわかった。WHO世界認証を取得することで始まったと記憶しているが24年7月当初から現在に至るまでの国際認証の経緯や予算に対しての所見を問う。

**問** 市長のトップダウンで進めてきたセーフコミュニティ(SC)の取り組みは、WHO世界保健機関の国際認証を取得するため多くの市民の皆さんに協力を求めて進めてきた。しかし、認証機関が現在WHOとは全く関係のない一民間団体である事がわかった。WHO世界認証を取得することで始まったと記憶しているが24年7月当初から現在に至るまでの国際認証の経緯や予算に対しての所見を問う。

**問** 市長のトップダウンで進めてきたセーフコミュニティ(SC)の取り組みは、WHO世界保健機関の国際認証を取得するため多くの市民の皆さんに協力を求めて進めてきた。しかし、認証機関が現在WHOとは全く関係のない一民間団体である事がわかった。WHO世界認証を取得することで始まったと記憶しているが24年7月当初から現在に至るまでの国際認証の経緯や予算に対しての所見を問う。

**問** 政府・与党が検討を進めている生産資材の「見える化」を問う。  
**産業経済部長** 大きなメリットがあると認識。しかし、複数年契約やアフターサービス、配送サービス等単なる資材価格だけでは判断できなく業者側の経営戦略面もあり、市として関与できない。

**問** ひのきが丘野球場3塁側フェンスが低く駐車場の車や人に球が当たるが。  
**建設部長** 利用者等からの防球ネット設置に対する要望や利用実態など、公園利用者の安全を考慮し、実施に向けて検討をしていく。

**問** 市長のトップダウンで進めてきたセーフコミュニティ(SC)の取り組みは、WHO世界保健機関の国際認証を取得するため多くの市民の皆さんに協力を求めて進めてきた。しかし、認証機関が現在WHOとは全く関係のない一民間団体である事がわかった。WHO世界認証を取得することで始まったと記憶しているが24年7月当初から現在に至るまでの国際認証の経緯や予算に対しての所見を問う。

**問** 市長のトップダウンで進めてきたセーフコミュニティ(SC)の取り組みは、WHO世界保健機関の国際認証を取得するため多くの市民の皆さんに協力を求めて進めてきた。しかし、認証機関が現在WHOとは全く関係のない一民間団体である事がわかった。WHO世界認証を取得することで始まったと記憶しているが24年7月当初から現在に至るまでの国際認証の経緯や予算に対しての所見を問う。

**問** 市長のトップダウンで進めてきたセーフコミュニティ(SC)の取り組みは、WHO世界保健機関の国際認証を取得するため多くの市民の皆さんに協力を求めて進めてきた。しかし、認証機関が現在WHOとは全く関係のない一民間団体である事がわかった。WHO世界認証を取得することで始まったと記憶しているが24年7月当初から現在に至るまでの国際認証の経緯や予算に対しての所見を問う。

認証式典に小学生の代表



# 特別委員会などの動き

## 庁舎整備特別委員会

### 順調に進む新庁舎建設工事

4月22日、  
庁舎整備特別  
委員会を開催

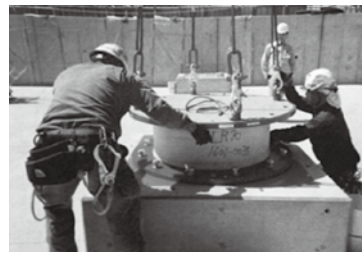
新庁舎の建設は28年3月末に本館基礎新庁舎の建設は、工事の大部分が完了し、4月から免震装置、車庫、倉庫棟の基礎工事を実施しており、工事は順調に進んでいる。9月末頃には本館上層階までの組み立てを完成させる予定になっている。



見えてきた庁舎の骨格(6月29日現在)

**問** 免震装置について説明を求めぬ。

**答** エネルギー吸収機能と長周期化に有効な機能を持った免震装置。



免震装置設置の様子

**問** 地震による免震装置の実績は。  
**答** 熊本地震では、一部庁舎が崩壊した所もあったが、免震装置を施している施設では、大きな被害はなかった。甲賀市の新庁舎においても万全を期したい。

①天然ゴム系積層ゴム12基。  
②プラグ入り積層ゴム17基。  
③弾性スベリ支承11基の計40基の組み合わせにより設置されている。

## 名神名阪連絡道路整備促進

### 甲賀市議会議員連盟総会開催

平成28年度名神名阪連絡道路整備促進甲賀市議会議員連盟総会を5月23日、水口社会福祉センターで開催しました。総会には中嶋市長や県議会議員、整備区間指定を実現する会の方々にもご出席いただき盛大に行われました。



総会の様子

名神名阪連絡道路は名神高速道路、新名神高速道路、名阪国道の東西の国土軸を南北に結ぶもので、産業、経済、文化の交流および周辺地域の社会基盤の強化と地域振興に大いに寄与するとともに、大災害時における緊急輸送、避難経路としても重要な道路です。しかし、平成13年に地域高規格道路の調査区間に指定されたものの、実現に向けた進展がありません。

議員連盟では国や県への要望、関係市町への協力要請を重ねながら、その実現に向けて取り組んでいます。

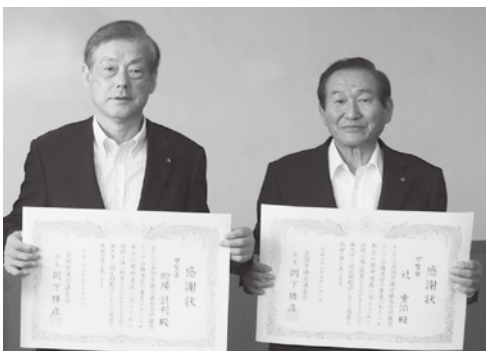


通学路に流入する大型車

## 5 議員表彰される

的場計利前議長

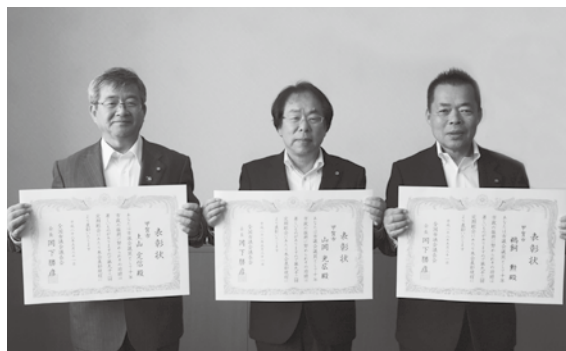
辻 重治議長



土山定信議員

山岡光広議員

鵜飼 勲議員



### 全国市議会議長会評議員に感謝状

平成27年度において全国市議会議長会の評議員を務められたことから感謝状が贈呈されました。

### 全国市議会議長会一般表彰

第92回定期総会において全国市議会議長会より通算10年以上議員として在職されたことに対し表彰されました。

# 組合議会報告・議会活動報告

## 甲賀広域 行政組合議会

### 新型タンク付消防車 2台購入



購入が決定したタンク式消防車

甲賀行政事務組合臨時議事が6月29日に開催されました。議案としてタンク付消防自動車の契約の上程があり、一台4600万円の消防車2台が信楽、石部に配備されることとなります。慎重審議の結果、全員賛成で可決されました。より一層甲賀市湖南市の安全が保たれることとなります。



訓練に励む隊員

甲賀広域行政組合消防隊員代表の選手は、6月18日滋賀県大会において、障害突破部門で優勝され、東近畿大会に出場されます。

### 消防救助技術 大会で優勝

## 議員研修

### 議会改革にむけ 講演会参加

5月23日、滋賀県市議会議長会主催の「軍師ネットワーク」キックオフ講演会が開催され、甲賀市議会からも多くの議員が参加しました。「軍師ネットワーク」とは、議会事務局間同士の連携強化を目指すもので、滋賀県内各市議会の活性化に資す

ることを目的に、今年度から開始されました。講演のテーマは、「議会事務局善政競争時代の幕開け」で講師は早稲田大学名誉教授・早稲田大学マニフェスト研究所顧問の北川正恭氏によるものです。講演会では、執行部の案を承認するのではな

く、お互いが競争しあわないと議会全体が軽視される。首長のチェック機能だけではなく、民意を反映した政策立案が必要であるとした上で、議員個人を超えて「議会」でどう対応するか、議会全体の底上げが必要である、という内容でした。



講演会の様子

## 議会活動報告 (4月～6月)

4月 4日	広報特別委員会(編集会議)
4月 12日	広報特別委員会(編集会議)
4月 20日	文教常任委員会
4月 22日	庁舎整備特別委員会
4月 27日	産業建設常任委員会
5月 6日	総務常任委員会
5月 12日	議会報告会【かふか生涯学習館・甲南公民館(プララ)】
5月 13日	民生常任委員会 議会報告会【水口社会福祉センター・信楽開発センター】
5月 14日	議会報告会【水口交流センター・土山開発センター】
5月 20日	議会運営委員会
5月 24日	視察受入【岡山県瀬戸内市議会】
5月 25日	臨時会
5月 30日	議会運営委員会
6月 6日	本会議(議案上程) 議会運営委員会
6月 14日	本会議(議案審議・採決・付託等)
6月 16日	本会議(一般質問) 広報特別委員会(編集会議)
6月 17日	本会議(一般質問)
6月 20日	本会議(一般質問) 議会運営委員会
6月 21日	本会議(一般質問)
6月 22日	産業建設常任委員会
6月 23日	総務常任委員会
6月 27日	本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)
6月 30日	広報特別委員会(編集会議)

# こうか再発見

vol.19

市内の文化財③

ヴォーリス氏が設計した  
旧水口図書館  
(国登録文化財・昭和)

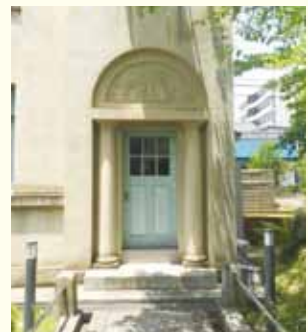


ヴォーリス氏が設計した旧水口図書館は、戦前の最盛期の作品のひとつとして「珠玉の小品」と呼ばれています。

建物はシンプルな中にも玄関は両脇にローマ風の円柱、玄関の上部には小さいバルコニーや塔屋上のランタンなど「知の館」にふさわしいデザインが見られます。

大阪の実業家、井上好三郎氏が故郷水口に図書館の建築を思い立ち、ヴォーリス建築事務所に設計を依頼し、昭和3年秋に竣工した建物で、以後昭和45年まで「水口町立図書館」として使用されてきました。

平成13年、国の登録文化財建造物に登録され、平成16年7月から活用されています。



(引用：甲賀市教育委員会編「甲賀を繙く」)

市議会だより  
音訳広報を  
はじめました！

視覚に障がいをお持ちの方を対象に、市議会だよりでは、前46号から音訳広報をはじめました。市議会だよりをあらかじめCD等に録音し、希望される方に無料で郵送するもです。



CD 郵送ケース

お申し込み・お問い合わせは、甲賀市社会福祉協議会までお願いします。

電話 65・6370

### お詫びと訂正

前号46号において、竹村貞男議員の一般質問の文中「打撲2件」を「打撲7件」に、また鶴飼勲議員の一般質問の文中「予備設置」を「予備設計」に訂正してお詫びいたします。

### 編集後記

暑い夏の真っ盛りです。熊本地震など災害の多いこの日本。「安心安全のまちづくり」になるよう、もう一度原点から見直さなければなりません。▶国でも地方でも「政治家と金」の問題が批判をあびています。市議会では、会派等に政務活動費が出ていますが、先進地視察等を通じ議会の一般質問や、議会報告など積極的に活用しています。▶「みなさんにより親しみやすく、読みやすく、興味を持ってもらえる議会だより」に心がけ、表彰も受けてきました。みなさんからの声をぜひお聞かせください。

(広報委員 安井直明)

### 9月議会の予定

- 8月23日 本会議(第1日)議案上程
- 24日 本会議(第2日)議案上程
- 9月 1日 本会議(第3日)議案審議
- 5日 本会議(第4日)一般質問
- 6日 本会議(第5日)一般質問
- 7日 本会議(第6日)一般質問
- 8日 本会議(第7日)一般質問
- 9日 委員会
- 12日 委員会
- 13日 委員会
- 14日 委員会
- 15日 委員会
- 16日 委員会(予備日)
- 21日 本会議(第8日)最終日



「伝えたい想いがあります」。7月3日、雲井自治振興会主催の「竹宵の夕べ」が信楽高原鐵道の雲井駅で夕暮れとともに行われました。

この催しは平成25年、信楽高原鐵道が上下分離方式で再スタートしたのを機に開催されました。翌年には台風18号により橋脚が流失し、運休した鐵道の再運行を祈り開催、今回で4回目。

雲井地区の小学生・保育園児が描いたイラスト入り紙コップや、願い事が書かれた短冊がつり下げられた竹のアーチをくぐる風景が印象的。今回は天候にも恵まれ、約500人の参加者が集い、梅雨の合間の夕暮れを楽しみました。



(写真撮影：田中将之委員)

